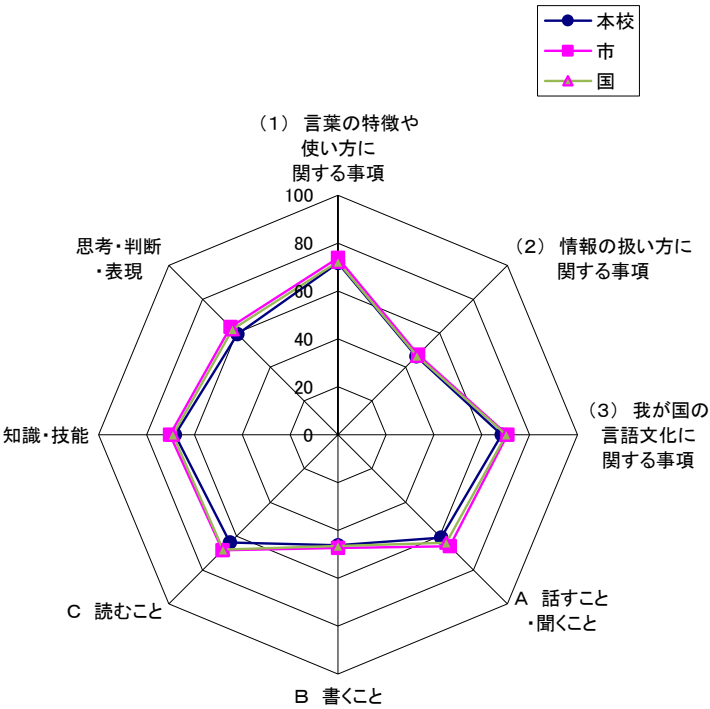


宇都宮市立陽南中学校第3学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【国語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	(1) 言葉の特徴や使いに関する事項	71.7	73.8	72.2
	(2) 情報の扱いに関する事項	46.2	47.3	46.5
	(3) 我が国の言語文化に関する事項	68.3	70.7	70.2
	A 話すこと・聞くこと	60.9	65.9	63.9
	B 書くこと	46.2	47.3	46.5
	C 読むこと	63.8	68.3	67.9
観点	知識・技能	68.1	70.2	69.0
	思考・判断・表現	59.4	63.6	62.3
	主体的に学習に取り組む態度			



★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
(1) 言語の特徴や使いに関する事項	●平均正答率が、全国平均を0.5ポイント下回っている。 ○表現の技法の名前を書き、同じ表現の技法が使われているものを選択する問題では、全国平均を24.4ポイント上回っている。	○多くの常用漢字を、生活の中で正しく使えるようにするため、定期的に漢字の小テストを実施する。 ●慣用句や四字熟語なども含め、語句の意味を辞書で確かめたり、短文を作らせたりすることを継続して、語感を磨き、語彙を豊かにさせていきたい。
(2) 情報の扱いに関する事項	●農林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書き加える問題で、全国平均を0.3ポイント下回っている。	●話や文章に含まれている情報を取り出して整理したり、その関係を捉えたりする練習をさせる。 ●条件スピーチや合意形成を目指す話し合いなどの学習を通して、自分の持っている情報と情報の関係を明確にし、相手や目的に合わせて話の内容や構成を考える力を養いたい。
(3) 我が国の言語文化に関する事項	●平均正答率が、全国平均を1.95ポイント下回っている。 ●行書の特徴を理解する趣旨の問題では、全国平均を2.7ポイント下回り、正答率も36.7%と低かった。	●身の回りで見かける文字の表現効果に触れさせ、日本の持つ文字文化の豊かさを理解させるとともに、自らの生活に役立てようとする意欲を育てたい。 ●楷書と行書の違いや仮名との調和のさせ方などを理解し、筆遣いや字形に気をつけながら配列を整えて書けるよう練習させる。
A 話すこと・聞くこと	●平均正答率が、全国平均を3.0ポイント下回っている。 ○スピーチの一部を呼び掛けたり問いかけたりする表現に直す問題では、全国平均を0.4ポイント上回っている。	●目的や条件に合わせて効果的に話す力を養うため、スピーチや討論など多様な音声言語の学習を取り入れる。また、観点を明示した聞き取りメモを用意し、話の内容や表現の仕方を判断・評価する練習をさせる。 ●普段の授業の中でも、表現の仕方や敬語の使い方などのポイントを示し、場の状況や相手の様子に応じた効果的な話し方について意識させる。
B 書くこと	●自分の考えが伝わる文章になるよう、根拠を明確にして書く趣旨の問題で、全国平均を0.3ポイント下回っている。	●自分の意見を短い文章にまとめる機会を多くつくり、書くことに慣れさせる。また、書いた文章を推敲することで、最適な表現を精査し、書くことの基礎を身に付けさせる。 ●作文の授業では、個別にチェックさせたり、評価を工夫したりして、様々な課題に応じて、自分の考えやそれを支える根拠を明確に書くことができるよう指導していきたい。
C 読むこと	●平均正答率が、全国平均を4.1ポイント下回っている。 ●場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を元に捉える趣旨の問題では、全国平均を7.2ポイント下回っている。	●文学的文章については、登場人物の心情や人物どうしの関係、その変化などを捉えながら作品を読み進め、場面の展開や表現に着目して作品を批評する力を養っていききたい。 ●説明的文章を読む際には、筆者の意見を的確に捉えられるよう、論の進め方や説明の仕方について意識させるとともに、文章を読んで自分の考えを持ち、書いたり話し合ったりする練習をさせる。